



坂戸市立坂戸小学校 笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・坂戸小だより

- 【学校教育目標】
- やさしく (徳)
 - かしこく (知)
 - たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和3年10月27日
第15号 文責 鈴木 博貴

『言葉は心の鏡』～『美しい言葉は、美しい心』言葉を大切にしましょう～

【校長講話より】 10月も「実りの秋」にふさわしく、坂小っ子の皆さんの活躍する姿がたくさん見られます。この間の運動会でも全員で協力して心を燃やし、熱く、逞しい皆さんの立派な姿がたくさん見られました。普段の授業中の様子、委員会活動、係や当番活動、掃除、さらには学年の行事などにも、本当に皆さんはよく頑張っています。また、今月は坂戸小の読書月間。既にこれまでに全校で23,000冊以上、一人平均35冊以上も本を読んでいます。「読書の秋」にふさわしく素晴らしいことです。校長先生の心も、皆さんの頑張っている素敵な姿やたくさん笑顔で、秋晴れの澄み渡る真っ青な空のようにとっても気持ちがよいです。

さて、今日のお話は、『言葉の大切さ』について一緒に考えてみましょう。この間、斎藤先生が、「挨拶の大切さ」のお話の中で『一秒の言葉』という素敵な詩を紹介してくださいました。「はじめまして」「おはよう」「ありがとう」「おめでとう」「がんばって」「ごめんなさい」「さようなら」。たった一秒ほどの言葉でも、人の気持ちを温かくしたり、一生の出会いや別れになったりすることがあります。逆に、同じように一秒ほどの言葉でも、お友達や相手を嫌な気持ちにしたり、心を傷つけてしまったりする言葉もありますよね。10秒ほど時間をあげますので、心の中で思い浮かべてみてください。【10秒間】思い浮かべることができましたか。皆さんの中には、「ウザイ」「キモイ」「ムカツク」などの言葉を思い浮かべた人もいるかもしれません。中には、この世の中にたった一つのかげがえのない一番大切な命なのに、絶対に言ってはならない命に係わる二文字の言葉を思い浮かべた人もいるかもしれません。その他にも、身体のことや嫌なあだ名などもあります。これから、皆さんと一緒に『言葉の大切さ』を考えるために加藤教頭先生が詩を紹介してくださいます。

えんぴつで かいた字は けしゴムで きえる / こくばんに かいた絵も こくばんふきで けせる /
口からでてしまった ことば けす けしゴムはないんだね / とりだせないんだね きみの耳に ささった
ぼくのことば / わすれられないよ ぼくのむねに ささった きみの目 / ことばをけす けしゴム
あったらいいなあ・・・ ～『ことばの消しゴム』(『とうさんのラブレター』より) / 作・なかの ひろ～

皆さん、いかがですか。小さな言葉でも人の心が温かくなる大きな力になるものがあります。でも、言葉によっては武器や凶器にもなり、時として相手の心に深い傷を負わせてしまいます。一度口から出てしまった言葉はもう飲み込めません。言う前の言葉は「自分のもの」、言ってしまったら「相手のもの」です。お友達が傷つくのがわかっていて、または傷つけようとして、わざと嫌な言葉を使う人は、この坂戸小にはいないと信じています。

しかし、厄介なのは、言葉を使った本人がそれに気付かないで、知らず知らずのうちに使ってしまうことも多いのです。わざと言ったつもりはなくても、一度口から出た言葉は消せません。だから自分の言葉には責任をもって、正しく使いたいですね。でも、もしわざとではなくても、お友達の心を傷つけるような間違った言葉を言ってしまったら、素直に反省し、それを消してあげる「心の消しゴム」をもっていたいですね。

最後にもう一つ、詩人として有名な北原白秋の『ひとつのことば』という詩を皆さんに紹介します。【詩の朗読】。日本には昔から「言葉には魂、見えない力が宿る」という意味の『言霊(ことだま)』という言葉があります。『言葉は心の鏡』とも言われています。

皆さんの「心の鏡」はどうですか。「きれいな言葉は、きれいな自分の心」。「優しい言葉は、優しい自分の心」、「美しい言葉は、美しい自分の心」。「チクチクした言葉は、どげどげした自分の心」、「汚い言葉は、汚れた自分の心」。坂小っ子の皆さん、たくさんのお友達と一緒に生活する中で、これからも皆で優しい心や美しい心をさらに磨いて、「美しい言葉」を大切にしていましょね。今日もお話をしっかり聴いてくれて、ありがとう。

『ひとつのことば』 北原白秋

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなかおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつのこころを 持っている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

【3年生】「社会科見学、たくさん学んできたよ！」

《弓削多醤油・歴史民俗資料館・関水金属・勝呂、城山地区》

10月8日(金)に坂戸市内の社会科見学に行ってきました。今回は、弓削田醤油「醬遊王国」・坂戸市立歴史民俗資料館・関水金属に行きました。

醬遊王国では、醤油を作る工程にはとても手間と時間がかかることを学び、興味をもってたくさんの質問をする姿が見られました。

坂戸市立歴史民俗資料館では、坂戸市にある昔の道具と、今の道具との共通点などを見つけたりして、楽しみながら見学することができました。

鉄道模型を製作している関水金属では、実物の電車の1/150のNゲージ、金型製作方法などを丁寧に説明していただきました。最後にはNゲージのお土産をいただきました。

バスでは坂戸市内の様々な場所を訪れ、土地の高低差を実感したり、同じ市内でも自分の住んでいるところと大きな違いがあることに気付いたり、様々な学びがありました。

天気もよく、学校外に出て、皆で学習できる喜びを感じた一日となりました。

(文：宮戸 学年主任)



【11月の主な行事予定】

【11月の生活目標】 外で元気よく走ろう

1日(月) 彩の国教育の日(～7日 教育週間)
フレンドタイム

2日(火) 2年生活科見学(森林公園)

4日(木) 委員会, 緊急地震速報訓練

8日(月) 安全点検日, 3年消防署見学

10日(水) 6年修学旅行(1日目)

5年ネット子供見守り講座

11日(木) 6年修学旅行(2日目)

16日(火) 4日課, 学校指導訪問

17日(水) 4日課

18日(木) クラブ

19日(金) 1年生活科見学(子ども動物公園)

6年租税教室

24日(水) 第2回学校評議員会・学校関係者評価委員会, 3年社会科見学(明治工場)

25日(木) クラブ

26日(金) 持久走大会準備

27日(土) 持久走大会

29日(月) 振替休業日(持久走大会)

30日(火) 持久走大会予備日, お話朝会

※ 詳細は、学年だより、学校HP等でご確認ください。

【学校ホームページ】「活動の記録」などの学校情報を随時更新しています。是非、引き続きご覧ください。

【新しい職員等の配置について(お知らせ)】

新たな教職員の異動がありましたのでお知らせします。10月25日より 大澤 史和 教諭が配置されました。主に3年生を2学期末まで担当します。

また、大学連携として、坂戸市スチューデントインターンシップ事業や長期学校体験実習により、女子栄養大学の学生に加え、城西大学の学生3名も実習を行っております。どうぞよろしく願いたします。

【校長室より】「人間力としての言葉の大切さ」

本市の学力向上重点施策『学び合い』でご指導を頂いている東京大学名誉教授の佐藤 学先生とは、講演会だけでなく5年前から私的にもお話を伺う機会を頂いている。先生から何度も「人間関係形成能力、言語能力の大切さ」を聴かされた。その話の中で「人の知性や教養は、物腰の柔らかさ、言葉の柔らかさに表れる」との言葉が印象深く残っている。『実るほど 首を垂れる 稲穂かな』の諺に共通するものを感じた。『子供にとって、最大の言語環境は教師である』と言われる。学校の教師は勿論、子供たちを取り巻く家族、世の大人たち皆が次代を担う子供たちの手本であり教師。我々大人が、改めて正しい言葉、美しい言葉を大切にしなければならない。

《 夢道場・ほっとニュース 》

『予告なし！避難訓練&消火訓練体験』(10/19)

今回の避難訓練は、いつ起こるかわからない実際の避難を踏まえ、事前の予告無しで実施しました。地震による火災を想定し、2時間目の休み時間に避難訓練放送を開始。校庭で遊んでいた大勢の児童たちが一斉に校庭中央に集合し、身を屈める姿は立派でした。校舎内に残っていた児童たちもハンカチで口と鼻を押え、災害避難時の合言葉『おかしもち』をしつかりと実践して避難していました。

今回の避難訓練では坂戸・鶴ヶ島消防組合の署員の皆さんにご協力いただき、教職員の初期消火等を含めた初動時の行動へのご指導、そして児童たちにも、消火器を使っての「消火体験」をさせていただき、貴重なご指導をいただくことができました。改めてご協力に感謝いたします。

